



学校だより 第2号

糸満市立三和中学校
校長 仲程 俊浩
令和6年5月7日発行
糸満市字真壁519番地
098-997-2104

《教育目標》

ふるさと三和を愛し 主体的に学び続け お互いを尊重し合う 心身ともに健やかな生徒

今、私たちの学校では・・・

入学、進級から1か月が経ちました。ここしばらく雨の日が例年より多いように感じます。気が滅入ったりもしますが、4月下旬から5月上旬は二十四節気のひとつ「穀雨」といわれ、田畑にとっては穀物の成長を促す恵みの雨ですから感謝したいものです。

この1か月間、本校の生徒の様子、先生方の姿は、保護者、地域、そして三和中学校を知らない沢山の人たちにも自慢したくなるくらい立派で素敵でした。

1年生は何といってもみんな素直です。そして目をキラキラ、時にはガラガラさせながら「学校は楽しい!」「授業がおもしろい」といった姿勢と熱量を感じます。

これから部活動や学校行事等で活躍の機会が広がる2年生は「学校の中核」として1年生の見本となるような学校生活を送り、そして今後、受験を迎える3年生の姿を通して更なる高みを目指しながら学校に元気なエネルギーを送っています。

「三和中学校の顔」である3年生は何と言っても、何でも安心して任せられる頼りがいのある存在です。自分たちの持ち味を發揮しながら見事に学校をリードしてくれています。

本校では日常的に先生方から「ああしなさい!」「それはこっちにしなさい!」「指示通りにやりなさい」といった指導は他校より

ずっと少ないように感じます。むしろ「あなたはどうしたいの?」「これについてどう思うの?」「〇〇についてあなたの考えを聴かせて」等、生徒に投げかける、考えさせる場面が多く見られます。

本校の学校教育目標の中に「～～主体的に学び続け～～」、目指す生徒像のひとつに

「主体的に学び続ける生徒」があります。

「主体的に学び」とは「自分の意志や判断に基づいて行われる学び」のことを指します。

自分で学ばない、何も考えない、解決しようとしないう指示待ち人間、は、社会に出たときに困ります。大人になれば見たこともない壁、さまざまな難しい壁が必ず現れます。その時に大切なのが「学ぶ」「考える」力です。自分で学び、考えて行動すると自ずと道が拓けます。

学校では勉強に限らず、いろいろ(計画的に)失敗させて、試行錯誤する場面も大切です。そうすることで、主体的に学び、考える姿勢を身に付けさせることができます。「あなたはどうしたいの?」「そのときどう思った?」「どうすればいいのかな?」「次はどうする?」。キーワードは「どう」です。学ぶ力・考える力=生きる力です。

子どもたちが学び考えながら自走しているとき、そのとき私たち大人は見守りながら、子どもの良き伴走者でありたいものですね。

